



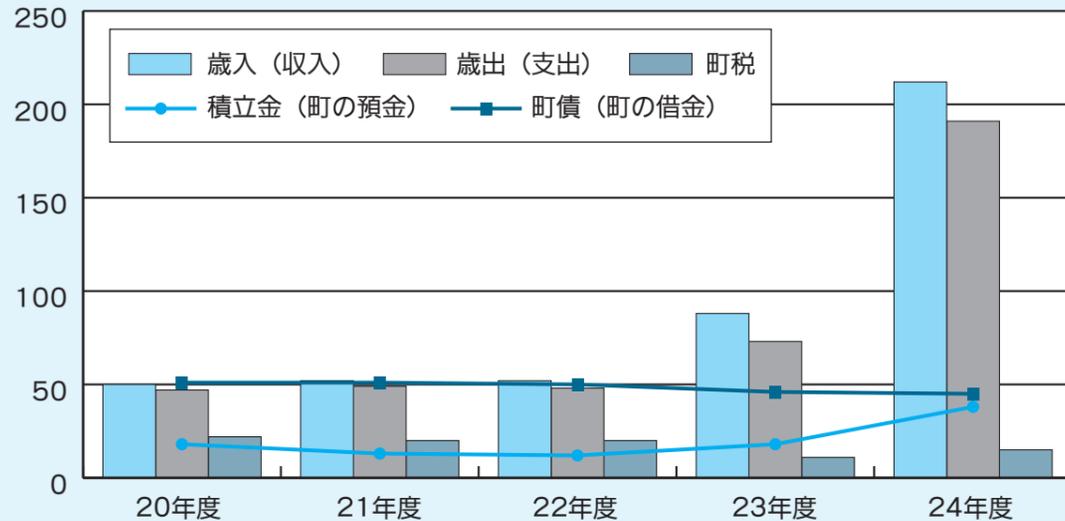
起立による決算認定の採決のようす

一般会計・特別会計
歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移
(単位：億円)

	歳入 (収入)	歳出 (支出)	町税	積立金 (町の預金)	町債 (町の借金)
20年度	50	47	22	18	51
21年度	52	49	20	13	51
22年度	52	48	20	12	50
23年度	88	73	11	18	46
24年度	212	191	15	38	45

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

(単位：億円)



平成24年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

会計名	決算額		収入未済額 (税金等の滞納)	採決の状況	
	歳入 (収入)	歳出 (支出)			
一般会計	181億1973万円	164億 400万円	2億3784万円	全員賛成で認定	
特別会計	国民健康保険	9億1656万円	8億5175万円	7573万円	〃
	土地開発事業	9162万円	7902万円	0円	〃
	公共下水道事業	15億7120万円	12億7825万円	456万円	〃
	農業集落排水事業	3188万円	2621万円	151万円	〃
	介護保険	5億3342万円	5億 692万円	317万円	〃
	後期高齢者医療	1797万円	1756万円	9万円	〃
	小計	31億6265万円	27億5971万円	8506万円	
合計	212億8238万円	191億6371万円	※3億2290万円		

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する5803万円が含まれています。

平成24年度決算

4つの健全化判断比率でチェック

危険信号※

指標	内容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	15.0%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	58.7%	350%



広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。

医療費の住民への周知を図れ

門馬まりえ議員 平成18年からの医療費適正化特別対策事業で、広野町は臨時職員を配置して医療費のレセプト点検や分析をしています。ですが、自分たちの医療費がわかるような住民への周知はどうなっていますか。

根本復興建設グループリーダー 医療機関にかかった被保険者に対して通知し、医療費の抑制を図っています。

分担金徴収への対策は

塩 史子議員 過年度分の下水道受益者分担金について、公平性の観点からも徴収にはどのような努力をしていますが。

渡辺建設グループリーダー 分担金を滞納している受益者に対し、年1回の通知をしています。

防災集団移転促進事業の630万円とは

門馬まりえ議員 広野町では、防災集団移転の実施はされていないと思いますが、この費用は災害公営住宅の移転事業費用ということですか。

根本復興建設グループリーダー 630万円は防災集団移転のなかの移転候補地の選定にかかる調査委託料です。災害公営住宅の費用ではありません。

収入未済額の取り扱いは

渡辺久長議員 平成24年度の町税などの収入未済額が約1億8000万円ですが、現在、収入未済額に対する取り扱いはどのようになっていますか。

また、法的に問題はありませんか。

根本町民課長 大震災の影響もありますので、国税や県税等を考慮しながら、震災に直接関係ない滞納なども含め、徴収対策をとっていきたく考えます。

また、時効になっていないものは、厳しく徴収したいと考えます。

質疑

執行した予算の成果を
今後に生かすよう要望